

憲照先生の手本ア・ラ・カルト
(à la carte) (23)

締切り 十一月二十四日(必着)

昭和55年4月

勇	為	義
な	さ	を
き	ざ	見
な	る	て
り	は	

つけペン・墨汁使用

〔解説〕

義
見

為
て

勇
なり

◎本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。まだまだ世の中には、新型コロナ禍の影響で、世界中が不安の中にいます。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★義を…(書体Ⅱ行書)

孔子(前五五二〜四七九・中国、儒家の祖)の言行を記録した論語の中にある、昔から広く使われていることば。こうするのが、あるいは、こういうのが人間として正しい道だと知りながら、自分の利益のため、または保身のために、あえてそうしない。それを孔子は、勇気がない者という。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会級位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

一般部規定課題

締切り 11月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕機会がないとは
薄志弱行の徒の口実である

なめらかに
長めに
のびよく
画数の少ない
文字は小さめに

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

機会がないとは
薄志弱行の徒の
口実である

新井龍峰書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

波法しっかりと
長めに
スツと

	最	最
	も	も
	静	深
	か	い
力	に	川
ト	流	は
一	れ	
	る	

古田瑞苑書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝行草または草書
▼師範＝行書

不得意なものを
征服することは
重要な修練である

◆12月課題予告(楷書)

むことができるであろう。

の自己弁護にすぎない。強固な意志を持
った人なら、たとえわずかずつでも
成果は上がってゆくはずであり、その
継続の中で、大成へのチャンスをつか
むことができるであろう。

あがらなかつたりすると「成功のチャ
ンスがなくて」とか、「機会さえあ
れば」と口にしがちであるが、
それは意志薄弱で、行動力のないもの
の自己弁護にすぎない。強固な意志を持
った人なら、たとえわずかずつでも
成果は上がってゆくはずであり、その
継続の中で、大成へのチャンスをつか
むことができるであろう。

★機会が：(書体＝行草または草書)
シェークスピア(一五六四～一六一六)
イギリスの大劇作家

人は、ものがと思うようにいかな
かつたり、いつまでたってもうだつが
あがらなかつたりすると「成功のチャ
ンスがなくて」とか、「機会さえあ
れば」と口にしがちであるが、
それは意志薄弱で、行動力のないもの
の自己弁護にすぎない。強固な意志を持
った人なら、たとえわずかずつでも
成果は上がってゆくはずであり、その
継続の中で、大成へのチャンスをつか
むことができるであろう。

母の膝に始まる
バロー

◆12月課題予告(行書)

と進んでいくものである。

事にはこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

なるが、大人物は大局に影響のない小
事にこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

る。それと同じように、小人物は小さ
なことにでも拘泥して、すぐに騒ぎた
てるが、大人物は大局に影響のない小
事にこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

たりするが、深い川は音も低く、多少
の岩にも波立てることなく悠々と流れ
る。それと同じように、小人物は小さ
なことにでも拘泥して、すぐに騒ぎた
てるが、大人物は大局に影響のない小
事にこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

底の石や岩にあたってもすぐに波立っ
たりするが、深い川は音も低く、多少
の岩にも波立てることなく悠々と流れ
る。それと同じように、小人物は小さ
なことにでも拘泥して、すぐに騒ぎた
てるが、大人物は大局に影響のない小
事にこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

川は浅ければ浅いほど音をたて、川
底の石や岩にあたってもすぐに波立っ
たりするが、深い川は音も低く、多少
の岩にも波立てることなく悠々と流れ
る。それと同じように、小人物は小さ
なことにでも拘泥して、すぐに騒ぎた
てるが、大人物は大局に影響のない小
事にこだわらず、目的に向かって悠々
と進んでいくものである。

ローマの政治家、哲学者

カトー(前三四～前四九)

★最も：(書体＝楷書)

母の膝に始まる
バロー

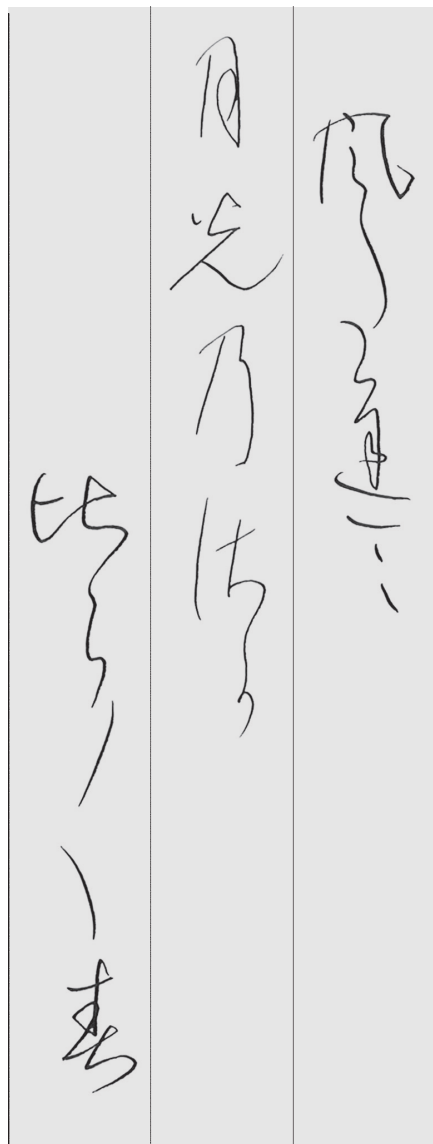
一般部かな課題

締切り 11月24日(必着)

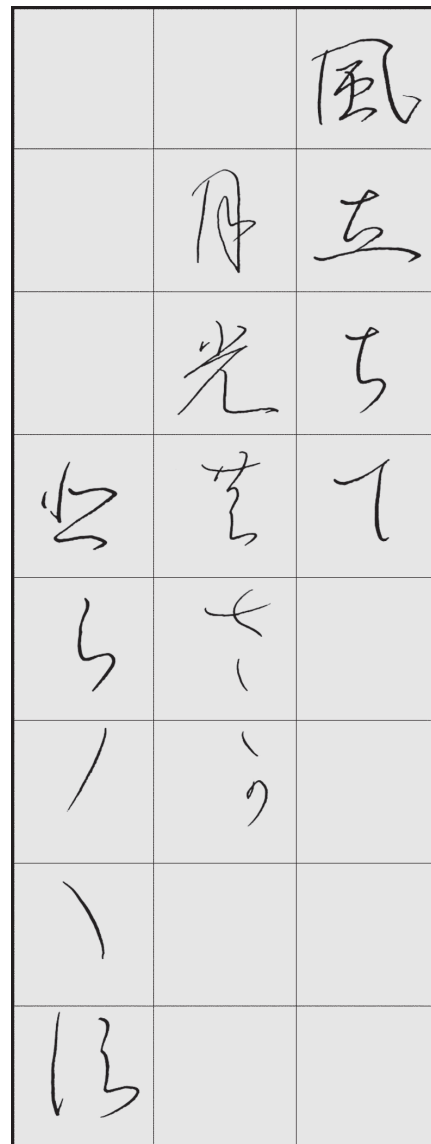
準初段から六段まで

新入から1級まで

風^{多遅天}立ちて月光^{乃佐可此}の坂^{ひらひら}す^春



風^{農さ可悲}立ちて月光^{ひらひら}の坂^{ひらひら}す^須



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆12月課題予告

しんしんと寒さがたのしみゆく

(星野立子)

【解説】「しんしん」は、普通一画ですが、柔らかく書く為、転折の所でペンをあげて、やさしく下の方へ書く。

天^て 佐^さ 悲^ひ 須^す 春^す
天^て 佐^さ 悲^ひ 須^す 春^す
天^て 佐^さ 悲^ひ 須^す 春^す
天^て 佐^さ 悲^ひ 須^す 春^す
天^て 佐^さ 悲^ひ 須^す 春^す

【古筆参考】

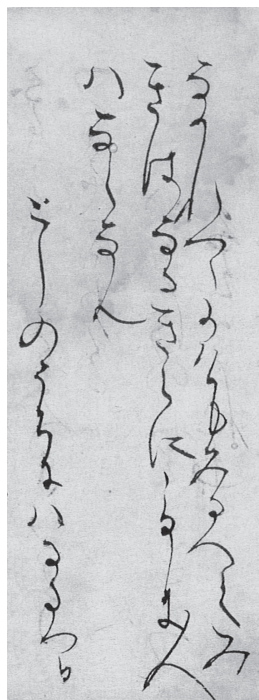
風立ちて月光の坂ひらひらす
(大野林火)
【句解】月光に照らされた坂道が、足元から街の方に延びている。そこに風が立つと、坂道はひらひらと翻り、身をくねらせるように見えたことだ。
【鑑賞】作者の家は、『江戸名所図会』にも出ている白幡神社への参道の途中にあり、かなり急斜面ではあるが、古い趣を残した坂で、その切り通しに立ってながめると、長い坂は眼の内である。

締切り 十一月二十四日（必着）

築瀬舟香書

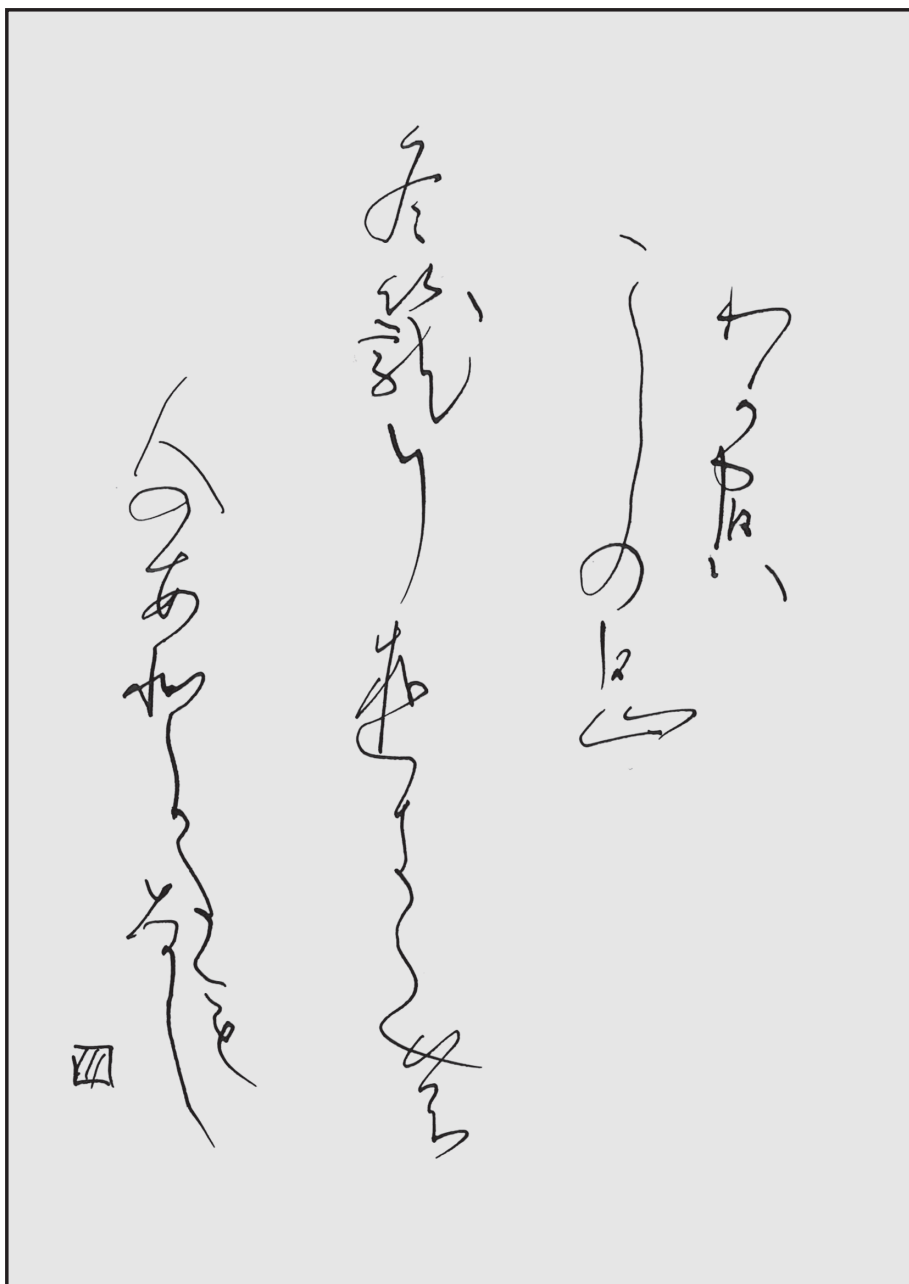
〔古筆参考〕

なかつかさしゅう
中務集



奈可
 ながれつゝか_{可介}げもみるべくみ
 奈
 ぎはなるきくにこ_目ひしき人_支
 八奈
 はならなん

としのうちにはるたつ日



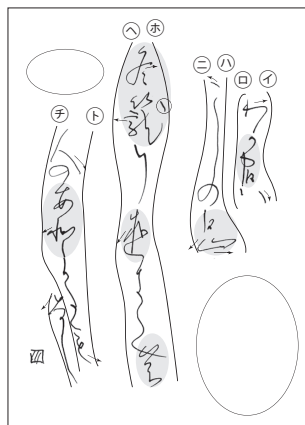
わが宿はこしの白山冬籠り
遊可支八、農登の人のあとかたもなし
ゆききの

「歌意」私の家は越後の雪の白い山で、冬の間うちにこもっているのので、行ったり来たりする人の足跡も全然ない。

〔出典〕近世和歌集

（日本古典文学大系）

〔解説〕



・イとロ、イとニ、イとヘ、イとチ、
ハとニ、ハとホ、ハとチ、ホとヘ、
ホとチ、トとチそれぞれ呼応。

- () 行のふくらみ

● 〇 余白

それぞれ大切。

●
↙
線の指向性

◆12月課題予告

白雪をよそにのみ見て過ぐせしが
まさに我が身に積もりぬるかも

締切り 11月24日(必着)

菊の香の漂う霜月を迎えましたが、
いかがお過ごしでしょうか。庭園の
紅葉も色鮮やかに染まり、見頃と
なっています。特に目に留まった
一葉を同封させていただきました。
葉にでもお使い下さいませ。

菊の香の漂う霜月を迎えましたが、
いかがお過ごしでしょうか。庭園の
紅葉も色鮮やかに染まり、見頃と
なっています。特に目に留まった
一葉を同封させていただきます。
葉にでもお使い下さいませ。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

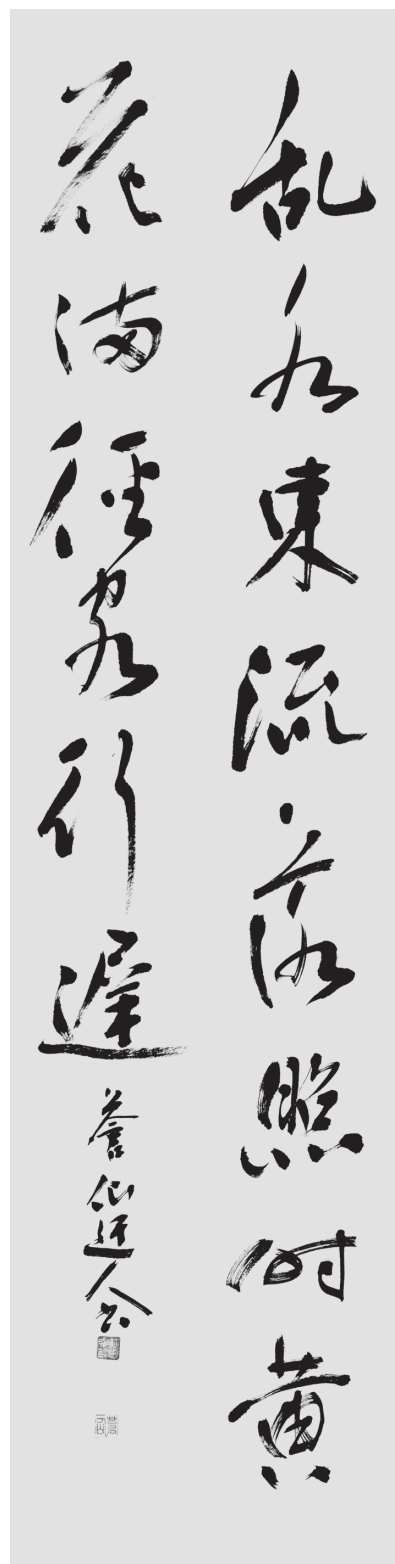
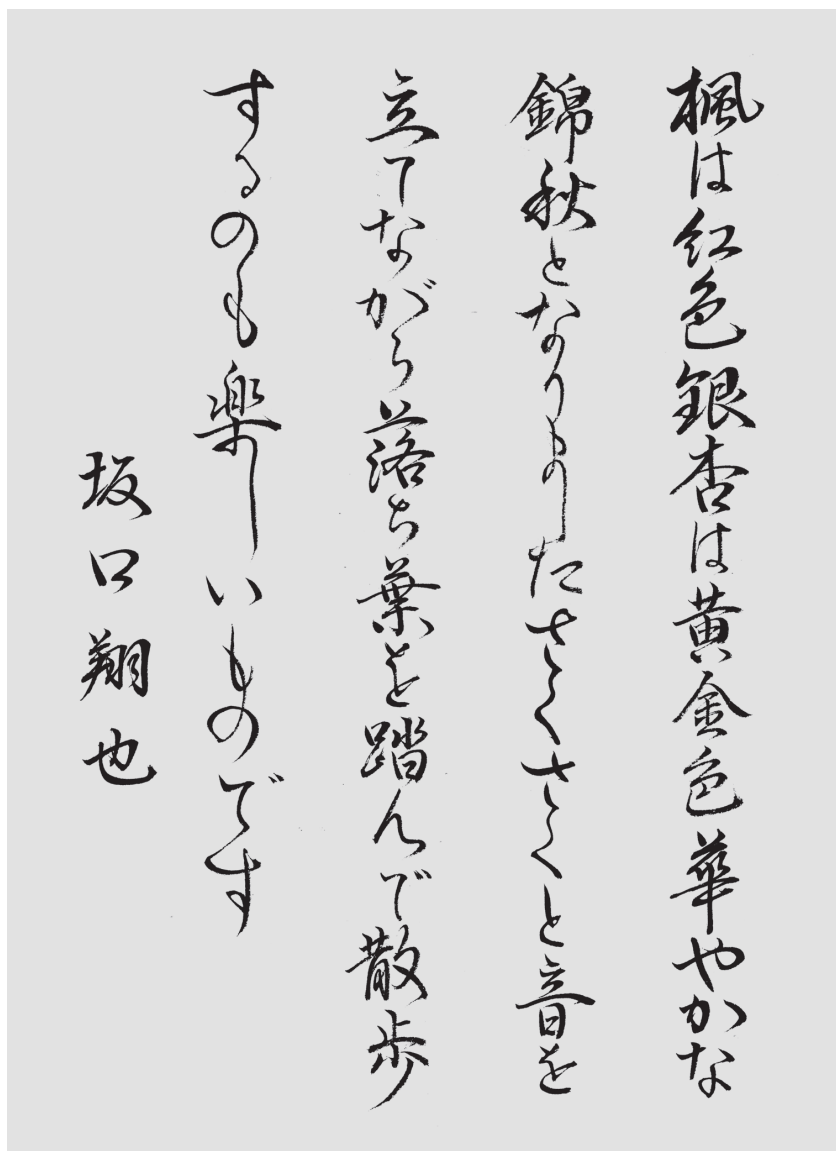
お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

キュリー夫人は、ラジウムの発見等
放射能研究に偉大な業績を残した。
和歌山県橋本市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十一月二十四日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書

らんすいひがしにながらうくしゅうのとき
乱水東流落照時

こうかみちにみちてきやくゆくことおそし
黄花満徑客行遅

せんき
銭起

半紙（334mm×240mm）

書 香 梅 藤 伊

〔条幅解説〕

手本のある方は、自作と並べて吊り下げて見て下さい。手本のない方は、自作を並べて見て下さい。どんどん離れて見る程に長短が見えてきます。これも上達の一方法です。

楓は紅色銀杏は黄金色華やかな
錦秋となりました さくさくと音を
立てながら落ち葉を踏んで散歩
するのも楽しいものです

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕 道行く人も菊
の花にみとれて歩くこ
とが遅い。落照は夕日
かげ、黄花は菊花。

新入から1級まで(楷書)

澤 幸
さわ かし
書

孤雲寄
大空

孤雲大空に寄す

〔大意〕秋口の澄んだ広々とした空に、こまやかな雲が集まっている。

〔解説〕

孤 雲
寄 大
空

◆12月課題予告(行書)

山静似
太古

準初段から師範まで

須田一葉臨

空 芳 致 謝
皇 帝

空
芳
致
謝
皇
帝

空 芳 致 謝 皇 帝

〔出典〕集字聖教序（六七二）
〔筆者〕王羲之法書より集字
〔読み〕空しく謝を致すことを芳
す。皇帝（春宮に）
〔解説〕

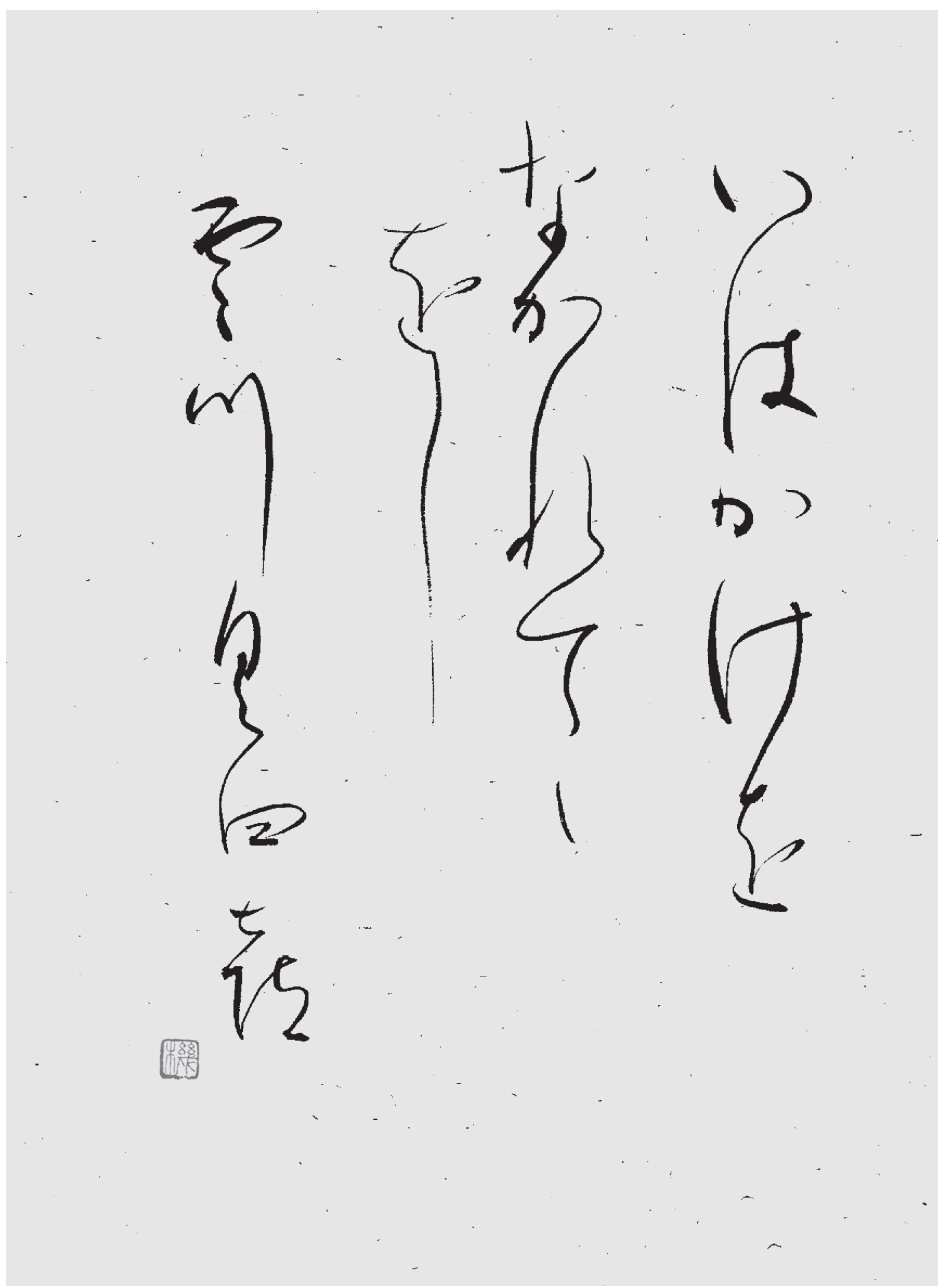
空 芳 致 謝 皇 帝

◆12月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。

元 芳 致 謝 皇 帝

新入から1級まで

浅井機山先生書



いはかけをながれ出て鴛鴦美しき
雲川具四喜
原石鼎

〔句意〕

岩かけから突然、鴛鴦が流れに乗って表れてきた。あざやかな色彩の鴛鴦が、冬枯れの景にひととき映えるというのである。

◆12月課題予告

苔の上ひとつひとつの散り紅葉

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

上5は、2字連綿、単体、2字連綿。中7は、4字連綿、単体（疊字）。

行を改めて2字連綿。行間を狭くして墨がかすれて「をし」、「し」の最後は下の余白に溶け込んでいきます。

下5は、〈墨継ぎ〉し、力強く、単体、単体、2字連綿、単体。

各行頭は上がったり下がったりしていますが、行頭を自分なりに考えて作ってみるのもいいです。例えば、紙面の下部に大分ゆとりがありますから、どこか1行を思い切って下げたり、行頭を揃えて行尾を宙ぶらりんにしたり、行間まで変化させてみると、実にいろいろ面白い散らし書きが出来ますよ。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「いはかけを」

〈線の太細〉に注視してみましょう。太い線は「は」の右側と「け」の左側です。

「ながれて、」

〈連綿線〉（連統線）に注視してみましょう。「なか」は、太い直線、「かれ」は前行「いは」より太い線、「れて」は、角度強く右から左に振っています。

「をし」

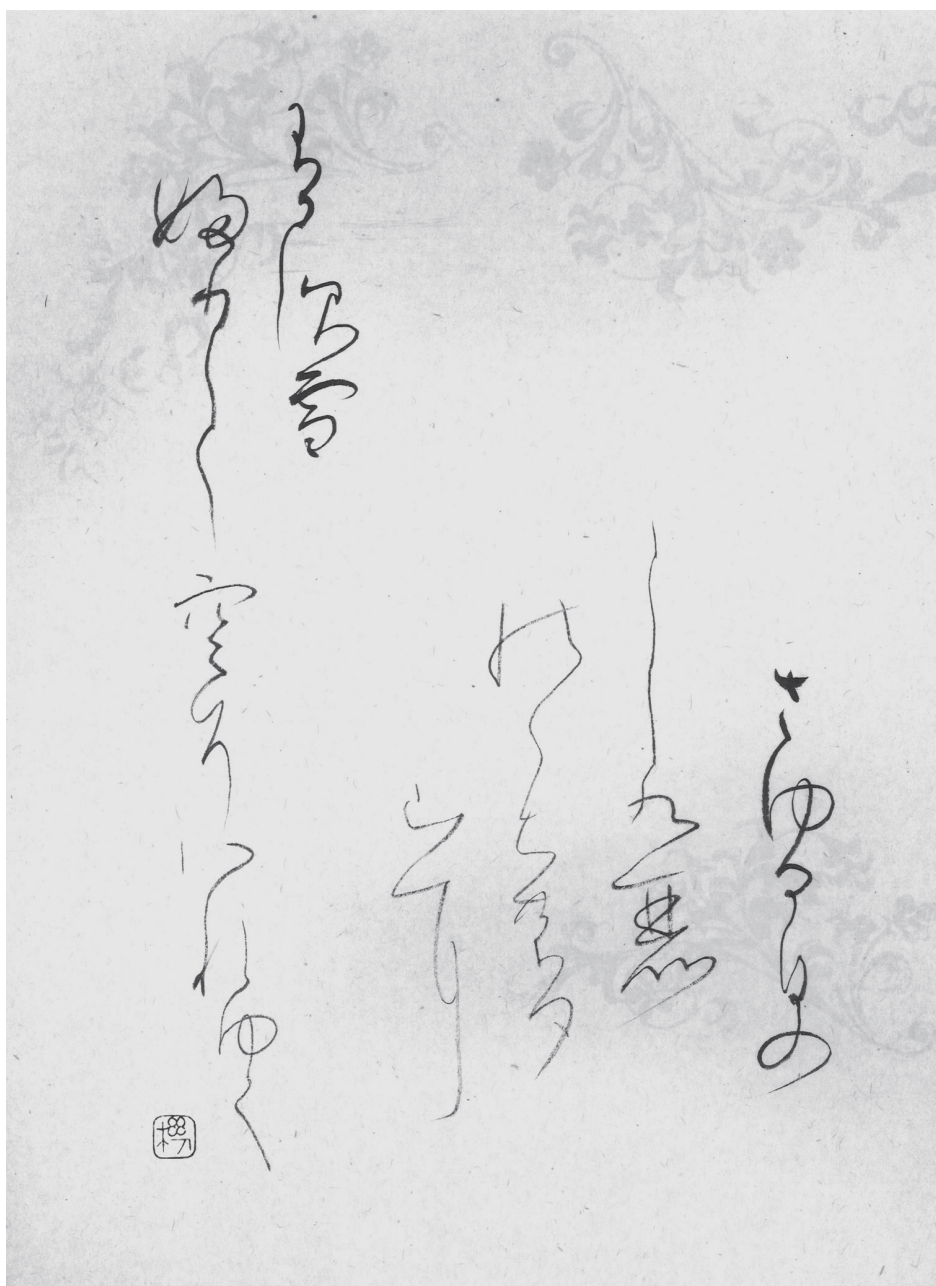
かすれて軽やかに。

「雲川具四喜」

「雲」は、太く力強く、「川」はチョン、チョン、長く。「具」は強く、「四」は細く、「喜」は細く太く。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



さゆる^ひ日の^し時雨^{九麗能}の^ち後の^農夕山^耳に

有^須婦^利空^曾うす雪^八ふりて空ぞ晴れゆく

「玉葉和歌集6冬945」藤原為兼

〔歌意〕

冷え込んだ一日、時雨が降ってやんだあとの夕暮れの山には、薄く雪が降りていて、空は晴れていくことだ。

◆12月課題予告

雪^{ゆき}ふれば冬^{ふゆ}ごもりせる草^{くさ}も木^きも

はるに知られぬ花^{はな}ぞ咲^さきける

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

新料紙です。生成りのうすい黄色地に、緑色で版木模様が上部と左下部にあります。模様はうすい色ですから、〈散らし書き〉は思い切り自由に書くことが出来ます。

上の句(5・7・5)は、下半分に塊のようにして4行を書き、下の句(7・7)は、上部に3字、改行して少し下げて長い行を上から下まで書いています。

段の上位にある人は、散らし書きを変化させて下さい。例えば、上の句を持っていて全体を安定させる、という如きです。大きく変えなくても、どこか少し変えてみる。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「さゆる日の」

力強く、〈字間の疎密〉を意識しながら書きます。

「し九麗」

長い「し」は上の余白をやんわり受け入れます。

「能、ち農夕」

ここも、字間の疎密を意識して、

「山耳」

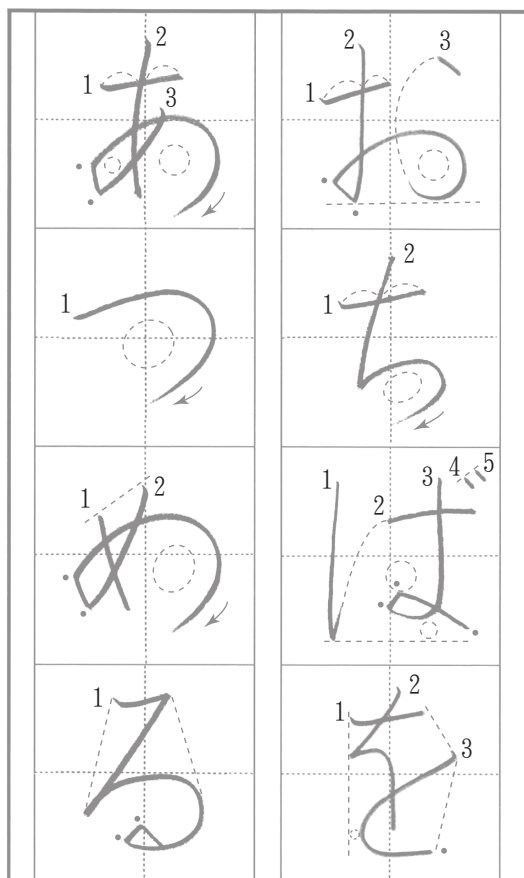
長い「耳」は前の「し」を意識しながら、4行をまとめます。

「有須雪」

「婦利空曾八れゆく」

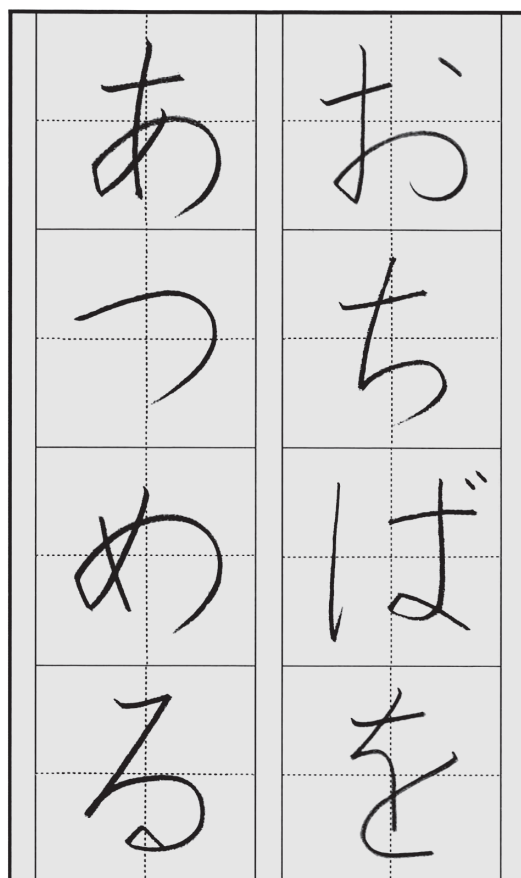
ここも、字間の疎密を意識して書きます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



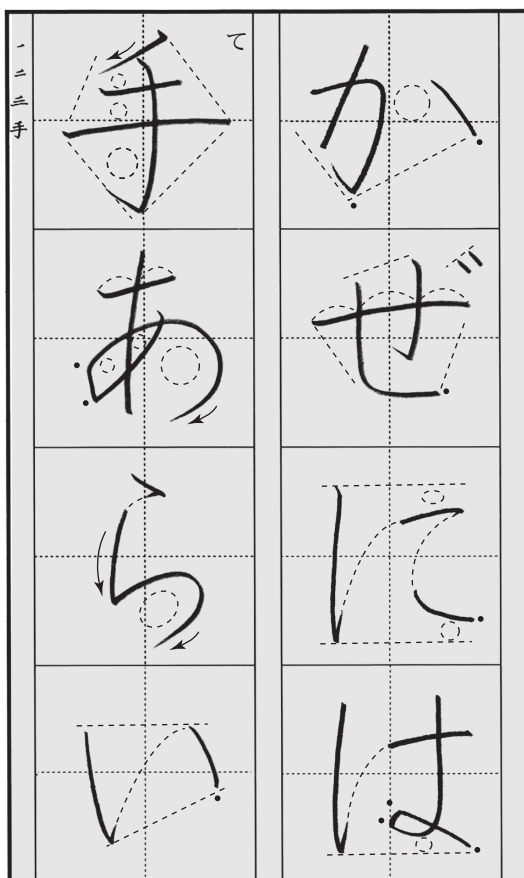
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

に	鳥 とり
と	が
ま	右 みぎ
る	手 て

新入1級

つ	右	文
て	手	鳥
い	に	が
る	と	一
よ	ま	羽

準初段以上

小二年

準初段以上

で	妹 いもうと
ぬ	と
り	部 へや
絵	屋 や

新入1級

を	屋	妹
し	で	た
て	ぬ	ち
遊	り	と
ぶ	絵	部

準初段以上

小三年

準初段以上

※部屋＝単語としてこのように読みます。
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

イ 什 集 集 集 集	あつ 一十才木 集	き 木
	め	の
ハ 何 働 働 働 働	はたら 働	み 実
	く	を

新入〜1級

め	木	寒
働	の	空
く	実	の
り	を	下
ス	集	で

小四年

準初段以上

小四年以上 岡嶋桂川書

一才才水 水	スイ(そう) 熱	ネツ 熱
ジユン 準	タイ 帯	ギョ 魚
ビ 備	か(う) 飼	

解説(よく見て習いましょう)

そ	う	熱
う	た	帯
を	め	魚
準	に	を
備	水	飼

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

ニ千和和和和	ワ 一イイ夜夜夜夜	ヤ 夜
へへへ食食食	シヨク 一ササ勤勤勤勤	キン 勤
ムムム弁弁弁	ベン 一ハハ父父父父	ちち 父
一リリ当当当	トウ 一ユユ親親親親	おや 親

解説(よく見て習いましょう)

を	に	夜
届	和	勤
け	食	の
ま	弁	父
す	当	親

小六年

(全員)

に	度	兄
参	献	は
加	血	月
す	運	に
る	動	一

中二・三年

(楷書)

練	に	剣
習	向	道
へ	け	の
行	毎	大
く	朝	会

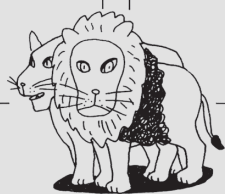
中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題

かん 野 しゅん こう
神 野 春 紅 書

ゴ	し	ラ	動	広
リ	ま	イ	物	い
ラ	馬	オ	園	
も	に	ン	は	
		や		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 11月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

なる せ ゆう か
成 瀬 有 華 書

照	黄	あ	イ	神
ら	金	た	チ	社
し	色	り	ヨ	の
て	に	一	ウ	境
い		面	の	内
る		を	葉	は
			が	



※境内・黄金色＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小二
右手

さい
ち



小一
か
ぜ

魚熱帯

小五

絵ぬり

小三

実ぬ
熱絵
魚木

実木の

小四

小三〜小五年
水野碧友書

中
三
運 献

動 血

小
六
弁 和

当 食

道

和

運

食

動

剣

中
一
大 剣

会 道

小六・中一・三年

玉樹小華書

第123回 硬筆検定試験受験要項

11月24日締切り

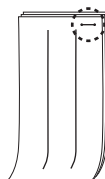
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和四年十一月二十四日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

活字課題 …… 二、〇〇〇円

はがき・かな …… 八〇〇円

教育部 …… 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課 題	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷 書	行 書	草 書				
一 般 部	1級コース	1級まで	下 掲 課 題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下 掲 課 題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶か な……田 中 貴 光 書

▶規 定……奥 村 憲 照 先 生 書

課題（ロ）
段位用紙

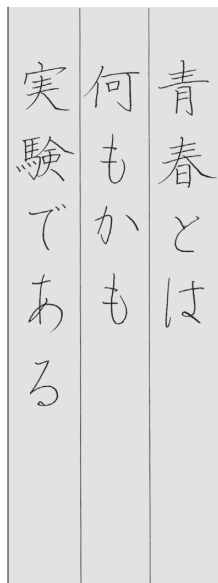
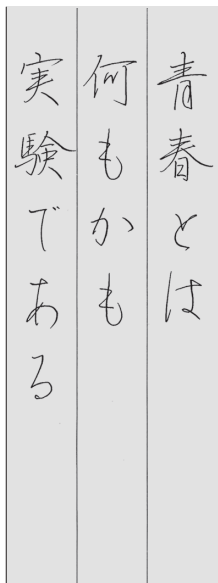
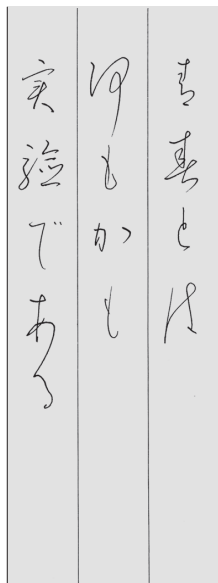
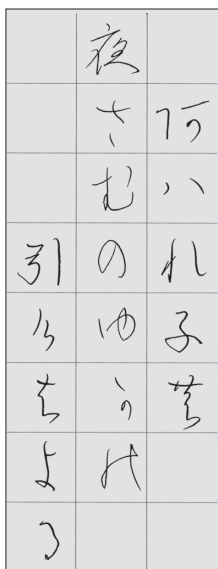
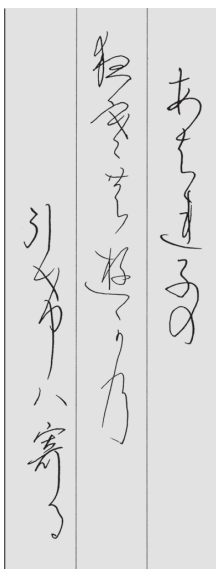
課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行 書》
段位用紙

《楷 書》
段位用紙

あはれ子の夜寒よさむの床の引けば寄るなかつていじよ（中村汀女）



◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース	受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで 下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス		11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	420
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

健全なる制限に
比例して自由は
存在する

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

あきやまをわがこえくればたまほこの
みちもてるまでもみぢしにけり

はがき 両コース共通

最高賞おめでとう。早速市民展の
会場へかけつけて、じっくり拝見
させていただきました。心血を注
がれた作品は、一際光彩を放って
胸に迫ります。奥様もさぞお喜び
でしょう。一筆お祝いまで。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	木
雨	の
やど	下

小 3

王	て	都
子	旅	を
様	に	は
の	出	な

用具＝えんぴつ

用具＝鉛筆以外

小 4	強
志	固
を	な
持	意

中 3

鑑	日	泉
賞	本	水
し	庭	の
ま	園	あ

用具＝鉛筆以外

(行 書)

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

注	脈	行
意	の	書
し	貫	で
よ	通	は

(行 書)

第83回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和四年十二月十九日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

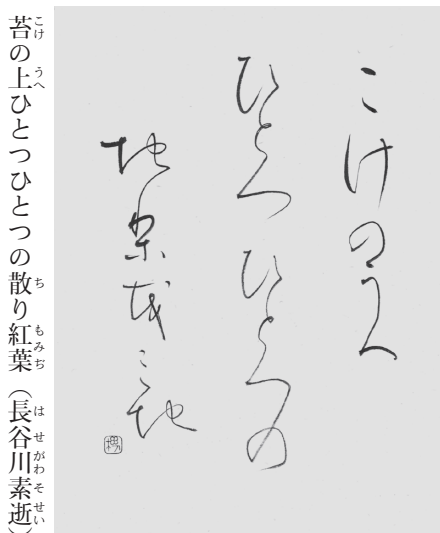
漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円
漢字半紙 …… 一、四〇〇円
細字 …… 一、〇〇〇円
条幅 …… 三、八〇〇円
細字 …… 二、〇〇〇円
教育部 …… 九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

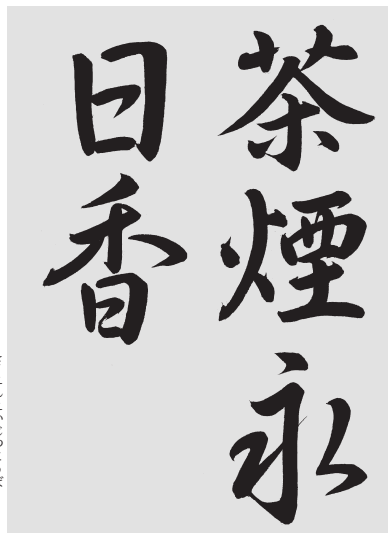
〔1級コース課題〕

《かな》



浅井機山先生書

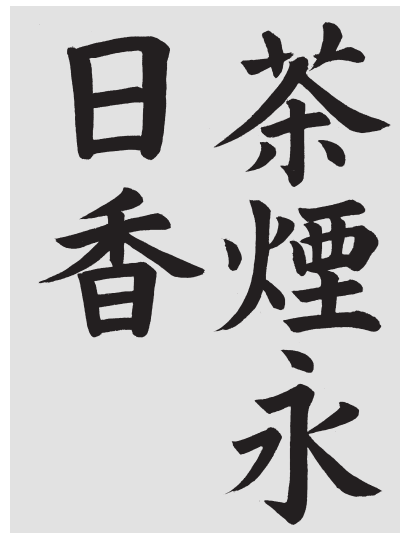
《行書》



茶煙永日香し

澤 幸 寿 書

《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受 験 料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

「五段・書範・教範コース課題」

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

以 貫 之 但 否 泰

▼集字聖教序

於 是 微 言 廣 被

▼書 譜

雖 權 以 此 辭 折

■かな 三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎雪ふれば冬こもりせる草も木も
はるに知らぬ花ぞ咲きける（紀貫之）
※22頁参照

■条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

人 君 信 而 号 令 成
人 臣 信 而 邦 家 榮

■細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

今年こそは大詰めで慌てたりする
ことがないように そろそろ家の
大掃除を始めようと思っています
年末をゆっくり過ごせます様に

■教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 そ ば
小 6 天 予 報 氣

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

■会友コース課題

特技

（行 書）

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

神谷葵水先生臨

雨知来
蔵往一

雨知来蔵往一

《かな》

浅井機山先生書

雪ふれば冬ごもりせる草も木も
はるに知られぬ花ぞ咲きける
(紀貫之)

雪ふれば冬ごもりせる草も木も
はるに知られぬ花ぞ咲きける
(紀貫之)

《集字聖教序》

神谷葵水先生臨

空端四
ハ之相

空端四ハ之相

《細字》

伊藤梅香書

今年も押し迫りとりわけご多忙の
ころ、存じますが心儀たゞ
なり忙し毎日ですがご自愛の
ほどお祈り申し上げます
ご自分の氏名

※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

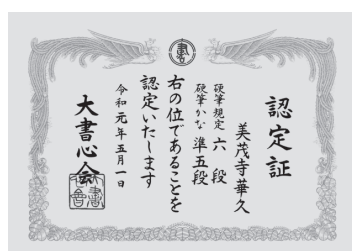
認定料

- ◆一般部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
 - ・書 範……………一〇、五〇〇円（千六〇〇円）
 - ・段 位……………二、一〇〇円（千三〇〇円）
 - ・級 位……………一、〇五〇円（千三〇〇円）
- ※書範は額入り、他は筒入り。
- ※認定料は、上位の成績を基準とします。

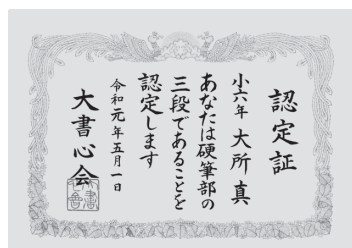
- ◆教育部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
 - ・準会友……………一、〇五〇円（千九一円）
 - ・段 位……………五三〇円（千九一円）
 - ・級 位……………三二〇円（千九一円）
- ※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

- 会友認定料……………二、一〇〇円
- 師範・教範免許料……………三七、〇〇〇円

（いずれも合格時納入）



〔例〕一般部硬筆（新形式）



〔例〕教育部硬筆

B4判

A4判